

2022年11月9日

SUBARUの3車種が2022年IIHSトップセイフティピックプラスを獲得 (米国仕様車が対象)

- 2023年モデルのアウトバックとレガシィ、2022年モデルのWRXが、最高評価トップセイフティピックプラス(TSP+)を獲得
- レガシィは17年連続でトップセイフティピックを獲得
- アウトバックは14年連続でトップセイフティピックを獲得
- 3車種のアイサイト装着車両すべてが前面衝突予防評価試験において最高評価の「Superior」を獲得



2023年モデル レガシィ(米国仕様車)



2023年モデル アウトバック(米国仕様車)

2023年モデルのアウトバックとレガシィ、2022年モデルのWRXが米国IIHS*1によって行われた2022年安全性評価において、最高評価となる「トップセイフティピックプラス(TSP+)」を獲得しました(米国仕様車が対象)。今回の3車種の受賞を受け、2022年IIHS安全性評価においてTSP/TSP+を獲得したSUBARU車は計9車種となりました。

2022 トップセイフティピックプラス(TSP+)獲得車種(米国仕様車)

- ・レガシィ(2023年モデル):17年連続のTSP以上獲得
- ・アウトバック(2023年モデル):14年連続のTSP以上獲得
- ・WRX(アイサイト装着車)(2022年モデル):2022年評価にてTSP+獲得
- ・クロストレック ハイブリッド(2023年モデル):4年連続のTSP+獲得
- ・フォレスター(2023年モデル):16年連続のTSP以上獲得
- ・SUBARU BRZ(アイサイト装着車)(2022年モデル):2022年評価にてTSP+初獲得
- ・アセント(2022年モデル):5年連続のTSP以上獲得

2022 トップセイフティピック(TSP)獲得車種(米国仕様車)

- ・インプレッサ(5ドア)(アイサイトおよび特定のヘッドライト装着車)(2023年モデル):15年連続のTSP以上獲得
- ・クロストレック(アイサイトおよび特定のヘッドライト装着車)(2023年モデル):11年連続のTSP以上獲得



2022年モデル WRX(米国仕様車)



2022 トップセイフティピックプラス ロゴ

2022年安全性評価においてTSPもしくはTSP+を獲得するには、6種類ある耐衝撃性能試験のすべてにおいて「Good」、且つヘッドライト性能試験において「Good」もしくは「Acceptable」を獲得し、さらに対車両および対歩行者の両方で「Superior」もしくは「Advanced」の評価を獲得した前面衝突予防システムが選択可能であることが求めら

れます。加えて、「Good」もしくは「Acceptable」評価を獲得したヘッドライトを標準装備したモデルには、最高評価であるTSP+が与えられます。

なお、TSPの要件を更に強化したTSP+が2013年に導入されて以降SUBARUが獲得したTSP+の累計は66となり、米国内ブランド別の累計獲得数として最多となります。^{*2*3}

*1:Insurance Institute for Highway Safety(道路安全保険協会)

*2:適用対象は米国仕様車のみ。Subaru of AmericaとSubaru Canadaの調査結果に基づく。

*3:2022年10月時点